

新潟医療福祉カレッジ

令和3年度 事業報告書

1. 基本方針

(1) 学校運営方針

専門学校の社会的役割を再認識し、地域社会から求められる学校・学生づくりを目指す。教職員においては学生の良き手本となれるような言動を意識し、常に自らを振り返る。

(2) 教育面

教育方針および指導方針、各科学習方針に基づき、専門教育の質の向上と豊かな人間性を育成する。資格、検定の合格とともに、社会で活躍できる力を養うという視点で人材教育を行う。

(3) 財政面

常に消費収支の適正な均衡を保ち、財政の健全化を図る。支出面においては、全職員が経費削減を意識し、日常における無駄を排除する。

(4) 事業面

既存学科および既存事業の健全運営に努めるとともに、社会ニーズに合わせた事業展開をおこなう。

2. 主な事業報告

(1) 教育活動等

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、課外活動や学校全体の行事は、中止又は学科ごとの開催に変更することが多かった。授業については、積極的にオンラインを活用していたため、必要な学びを提供することができ、資格や検定で例年と同等の結果を残すことができた。

① 主な教育実績

資格・検定名	学内合格率	全国合格率
社会福祉士国家試験	38.5%	31.3%
介護福祉士国家試験	97.2%	72.3%
診療報酬請求事務能力認定試験	92.3%	39.4%

・介護福祉科が、介護福祉士国家試験で4年連続、全員受験での100%合格を達成することができた。

② 授業運営、学習指導・支援

- ・学生の能動的な学びを引き出し、知識の定着を図るため、グループワークや調べ学習、教え合い、発問や発表機会の創出など、アクティブラーニングの要素を取り入れた授業が多く行われた。
- ・学習支援アプリやオンラインツールの活用により、効率的な授業運営と、学生にとっては時間を有効に使った学びにもつながった。
- ・習得状況が思わしくない学生に対しては、個別又は小グループで補講を行い、学習支援に努めた。
- ・コロナ禍のため十分でない面もあったが、福祉施設等のご理解により、実習や地域での活動にご協力いただき、実践的な学びの機会を提供することができた。

③ 就職支援、キャリア支援

- ・コロナ禍でもオンラインを活用しながら、止めることなく個々の希望に沿った就職支援を行うことで、最終的な就職希望者に対しては、7年続けて100%の就職率を達成することができた。また、多くの福祉施設や病医院、企業の協力を得ながら、キャリア支援にも努めた。

④ 生活指導、その他

- ・個別の事案に対して丁寧に対応することで、休退学者を少なく抑えることができた。

(2) 学生募集活動

- ・学校Webサイトやパンフレット、SNS等により、学科の強みと特色ある学びを広く発信することで、学校や分野の魅力発信に努めるとともに、コロナ禍でWebオープンキャンパスにも取り組んだ。また、介護人材不足に対応するため、引き続き介護の仕事を目指す留学生の募集活動にも努めた。

(3) 社会人教育事業

- ・コロナ禍のため事業計画よりも規模は縮小したが、感染状況を見ながら適切に運営されていた。